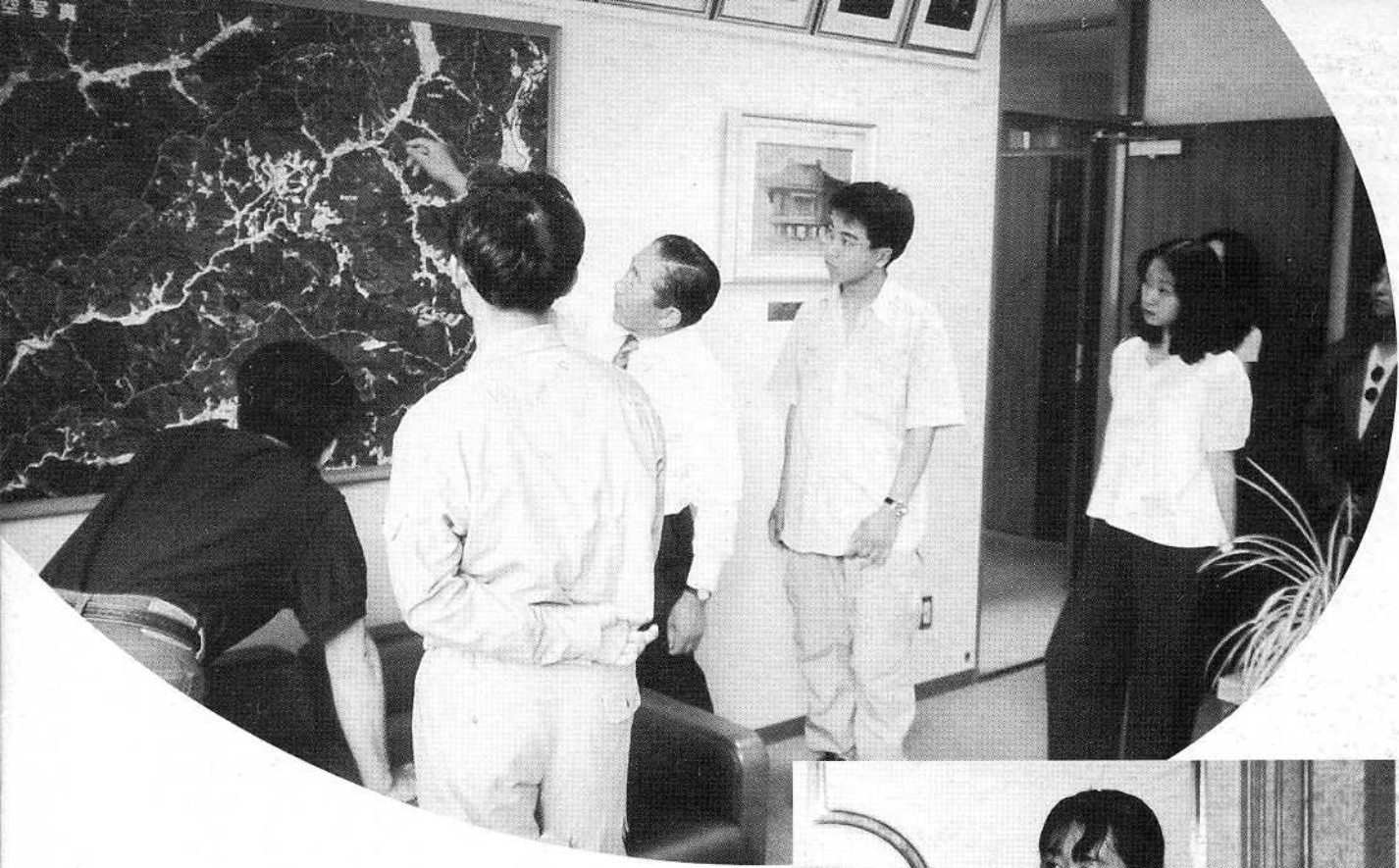




▲村長から航空写真で村の説明

フレッシュパック '96

毎年行われる新規就業者研修フレッシュパック '96が7月1日2日の2日間の日程で行われました。

この研修は、新しく就業された方を対象に、村を知っていただくことや職場で必要とされるマナーを身に付けていただくために行われるものです。

今年は、男女合わせて11名の若者が参加し、村内の9つの施設をまわったあと、こもれびの里にできたパターゴルフで交流を深め、美濃加茂市のホテルで電話対応セミナーやテーブルマナーの講習を受けました。



応対ひとつで相手の気分を良くさせます
“笑顔でゆっくりはっきりと”



テーブルマナーも礼儀のひとつ
身に付けておけば役に立ちます

広報 ひがししらかわ

1996
平成8年

7

No.421

人口の動き

—6月末住民登録人口から—	
世帯数	897 世帯
人口	3,323人
転入	5人
転出	1人
出生	1人
死亡	5人
先月と比較して増減無し	
昨年と同月と比較して	
50人減	

環境を守る。



この美しい水が
このまま海へ行けたら

最近、テレビなどの報道番組で環境について報じられることがめっきり減ったようです。以前は、酸性雨、オゾン層の破壊といった環境破壊問題が取り沙汰されていました。その原因となる排気ガスやフロンガスなどの規制によって、そういった対策がなされているからでしょう。

しかし、自分たちの身近である山や川といった自然はどうでしょう。私たちの身近なところにも守っていかねればいけないものがたくさんありますが、今回は清流白川をとらえてみました。

清流 白川の昔と今

古代エジプトやメソポタミヤといった文明は、ナイル川、チグリス川ユーフラテス川など、必ず川を中心に栄えています。本村も例外ではなく、白川沿いにはたくさん人の遺跡が発掘されています。

昔から人々が生活するにあたって、水は欠かせないものであり、また、そこに住む魚は、人間にとって重要なたんばく源であったようです。

最近では、時代の移り変わりとともに、白川の役割も変わり、川を意識するのは、夏の鮎漁のときだけのようです。

その普段の意識の薄さが、生活雑排水のたれ流しやゴミのポイ捨てといった行為を行い、環境汚染につながっているのではないでし

ようか。

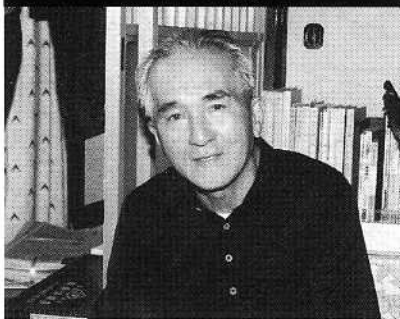
現在、川の清掃は、鮎の友釣り解禁前の漁業組合員によって行われるものと老人クラブの皆さんによって行われるものがありますが、実際に清掃活動に参加してみるとビールの空缶、肥料袋、また古い三輪車といった「何でこんな物がここに」と思えるようなものが捨てられています。

こうしたことを改善することや保全するために、また、昔の白川はどのようだったかを神土・越原・五加地区の川を愛する三人の方に尋ねました。



ゴミはしっかり持ち帰りましょう

五加大沢 今井房雄さん



針葉樹が増えたことや舗装の部分やコンクリートが増え、本来、土を通して浄化するのが、直接、川へ流れ込むため、水質が悪くなる。また、魚では、「マタイチ」や「オオカワザッコ」がいなくなった。この二種類は、きれいな水を求めて上っていく。上流部に住むものとして都会の人たちには味わえない恩恵を被っているのだから汚さないのは当たり前。100%の満足を求めれば環境は破壊される。80%に止めて、20%は自然環境の保護のために自分の生活を我慢したほうがいい。

越原陰地 村雲 忍さん



昔の川は護岸工事もしないし柳なんかも生とってそこが魚の住みかやった。今は見ようと思っても見れんが、「マタイチ」というやつがおって夜突きによお行つた。あれは、一番川の汚れに弱い。昔はいっぱいおった。

谷へ行っても山椒魚がおったが今は、そういうものは見られん。

川を汚す原因はやっぱり家庭排水やと思う。そういうのも上流として気をつけなあかん。川は村の観光資源やで護岸工事なんかも工夫せなあかん。また、ホテルの保護も考えなあかん。

神士平 安江久夫さん



文化が発達し物が豊富になり、便利になるたびに環境が破壊されていった。

昔は、石も真っ白やった。

兵隊から帰ってきたときには、「葦」がちよいちょい伸びていた。

最近はこのままだと全部「葦」に覆われてしまうんじゃないかと思って刈った。雨で流れる肥料なんかで「葦」が伸びるんじゃないか。また、昔は製糸工場まで用水がいつとって、その水で炊事や飲み水にしておった。

ゴミについては、持ち帰るのがあたりまえ。



全国名水百選に選ばれた馬瀬川

名水馬瀬川を訪ねて

本村から北西に位置し、下呂まわりで一時間ほどのところに益田郡馬瀬村があります。

人口千六百余人（本村の約半分）面積九千九百〇〇（本村の約一・一倍）の中山間の村です。

この村へは、広報担当の私といつも広報活動を支えてくれる広報モニターの皆さん三人と、そして、企画財政課の女性職員一人が同行し、村の活性化への取組、環境保護について視察研修に行きました。

そこには、白川と同じ飛騨川水系の全国でも名水百選に選ばれるほどの清流馬瀬川が村を縦断するように流れています。

夏には、鮎釣りの太公望でにぎわい

を見せ、

数々の鮎

釣り大会

はもとよ

りレディ

スフィ

ッシング

スクール

や全国鮎

料理コン

テストも

行われて

います。

こうした

川を利用したイベントで村の活性化を

図るためにも川の環境保全には気を使っ

ていました。

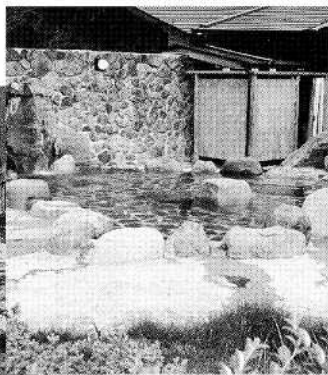
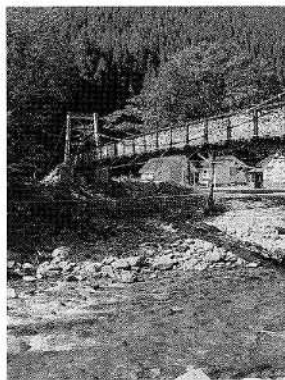
県内外から多くの鮎釣り客を迎えるには、川がきれいだけでなくてはなりません。そのため、「村民総参加の清掃日」「漁業組合員による清掃日」、「生徒たちによるクリーン作戦」、「主婦によるブルーリバー作戦」が行われています。「人はきれいな所に絶対ゴミを捨てません。汚れているから平気にゴミを捨てます」と馬瀬村役場の二村課長さんは話してくれました。

また、道路沿いの十二カ所にトイレが設置され、きれいに清掃が行き届いており、管理は地元でやっているそうです。

こうした美化運動のほか、家庭雑排水の研究や森林がもたらす川への影響などの調査や研究が進められています。



名所にこの看板が立てられています



馬瀬川を眺めながら
ゆったり美輝の湯

鮎釣り以外で客を楽しませているのは、馬瀬川上流に整備された、老谷自然公園。夏には八千人の客が訪れキャンプを楽しむそうです。また、ふるさと創生資金を生かして整備された美輝の里には、周りの自然を味わいながらくつろげる露天風呂やホテル美輝が建設されています。

このように川を中心に村の活性化を図ろうとする馬瀬村では、「エコリバーシステム」といって馬瀬川流域の森林、川、農地などの自然生態系を川と一体のものとして保全していくことや、こうした活動を行うことも村の活性化につながっていく「川が村を興す」として自然と人間との共存を図ろうとしています。

モニターさんの感想

●田口政春さん（西洞）

川を大事にし、それを利用し「村おこし」をしようとしている姿は見習うものがある。また、来客に配慮したトイレは、東白川村も考えた方がいいのではないか。

●安江政次さん（平）

東白川村も川掃除は、村民全員でやったほうがいいのでは。財産である自然をほんとうに大切にしている。また、まとまりのある施設をつくり、客を引き寄せている。

●安江春子さん（大明神）

ふるさと創成資金が生きている。それを生かした、自然との調和をもった、こだわりのある施設ができていいですね。

美しい自然を

後世に伝えるために

都会から離れた、小さな村「馬瀬村」は、都会の人たちの余暇の場として、子どもからお年寄りまで「楽しんでいただこう」という村民の姿勢が、活性化につながり、環境美化にもつながっているようです。

私たちの村も活性化の手段こそがなくても、自然を守る気持は変わらないと思います。村もかつての自然保護条例を見直す

とともに、看板の設置やボランティアの組織づくりといった自然環境保護に取り組みうとしています。

また、本村を流れる清流白川は、三町村をまたいでおり、本村だけでなく加子母村や白川町とも手を組んでいかなければいけません。そこで、飛騨川水系の管理を行っている漁業組合の小池豊組合長にゴミの問題などの保全対策について話を聞きました。

昨年までは、解禁前の川の清掃にお金を出していたが、今年は、組合も赤字で出すことができなかった。しかし組合員ならお金が出る出ないにかかわらず、積極的に河川清掃に参加してほしい。また行政も組合とタイアップして清掃活動に協力してほしい。

外来者については、自分の食べた弁当のゴミは持ち帰るぐらいのマナーは身につけてほしい。

トイレなどもやはり女性の方もみえますので今後考えていきたい。入川口の看板は、ゴミの対策を

考えた

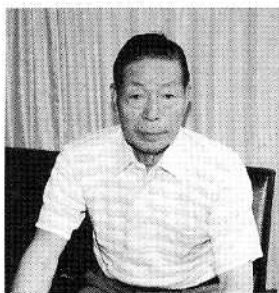
標語を

書き、

来年には各所に立て

ていき

ます。



飛騨川漁業組合長小池豊さん



この清流白川を後世に伝えましょう

自然環境は、人々が生きていくための基盤であり、また、私たちが、先祖から受け継いだ貴重な財産でもあります。こうした財産を大切に保全し、後世に伝えることは、私たちに課せられた責務であります。

洪水のあと、私たちの川はきれいになっても、そのゴミは下流に運ばれるだけのことです。

上流部に住む私たちは、下流まで清らかな水を流しても、ゴミは流さない気持はもたなければなりません。

川にゴミを捨てる人がいれば、皆さんが監視員という気持で注意をしてあげてください。

今こそ自然の価値を認識し、自然を愛し、自然に親しみながら、自然が与えてくれる恩恵に感謝し、清流白川のような澄みきった心をみんなが持てば、ゴミは川から消えることでしょう。

名称大募集!

平中川原の公園に
村にふさわしい
名前をつけてください



神土、平の中川原地区に村で4つ目の親水公園をつくっています。
この公園は、平成9年度の完成をめざして工事を進めています。
ここでは、大きなイベントもできる野外ステージを備えたイベント広場
やテニスコート ゲートボール場、また、遊具を備えたちびっこ広場
水と親しむせせらぎ水路など整備します。

応募方法

この公園にふさわしい名称、あなたの住所、氏名を応募用紙に記入し、7月31日までに提出ください。

- 提出先 東白川村役場農務課まで
☎ (05747) 8-3111
有線 2161
- 応募資格 小学生以上ならだれでも結構ですので、どしどしご応募ください。

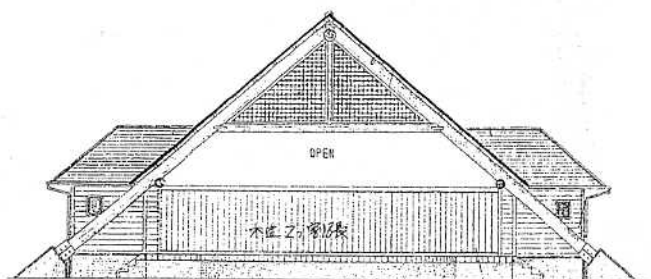
☆ 応募いただいた皆さんには、もれなく粗品をお届けします。

この名称を参考にしてください

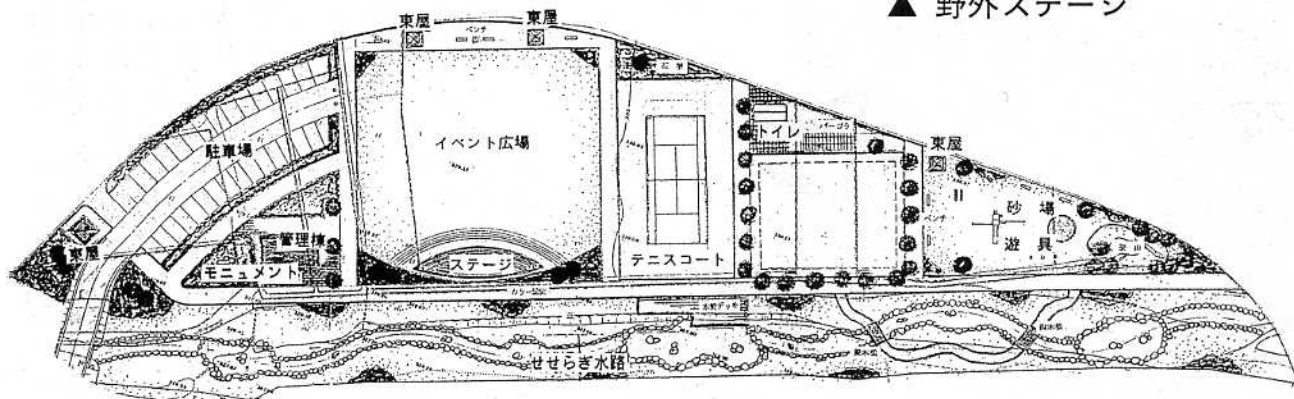
- ・白川瀬音公園〔陰 地〕
清流の音が心地よく聞こえてきます。
- ・鮎ヶ瀬公園〔平 〕
この公園に架かる平成橋から鮎が眺めます。
- ・五介の滝公園〔久須見〕
五介の滝周辺一帯を整備しました。
- ・ふるさとビレッジ「魚の宿」〔平 〕
4棟の建物にはそれぞれ魚の名前が。

こんなときに使用できます

- ① 2,000人ぐらいの人が集まることができ、音楽会等のイベントができます。
- ② せせらぎ水路で、ますやあまごのつかみ取り大会や、ふだん子どもの水遊びなども自由にできます。
- ③ 大きなイベントがない限り、だれでも自由に利用できます。
- ④ 管理棟では、30人ぐらいの会議ができます。



▲ 野外ステージ



森の朴葉ずしまつり

「つちのこ搜索イベント」に肩を並べるほどのイベントに定着した、「森の朴葉ずしまつり」が、はなのき会館において六月十六日に行われました。

プロも絶賛！

木の葉料理コンテスト

三回目を迎えたこのイベント。コンサートなどの「見る」「聞く」といったものだけでなく、「森のアクセサリ工房」や「木の葉カード工房」といった体験ができるコーナーが設けられ、来場された皆さんに「一日楽しんでいただこう」とたいへん趣向を凝らしたものでした。また、どのコーナーも木の葉や木の実を生かしたものが多く、「田舎ならではの」といったこだわりを感じさせました。

このイベントのメインである、「木の葉料理コンテスト」は、「花」というテーマのなかで、木の葉を使った料理なら「何でもOK」というもので、村内外から集められた三十七点の作品は、朴葉はもとより、笹、柿の葉に工夫を凝らし、フルーツや野菜で花を形どった、どれも色鮮やかな作品ばかりでした。中でもひととき目を引いたのは、岐阜部品へ研修に来ているフィリピンの方々の作品で、南国らしいフルーツを使った料理は、祖国を思いながら作ったことでしょう。

審査には、前回から審査長を務めてくださっている岐阜グランドホテルの和食料理

(敬称略)

木の葉料理コンテスト

木の葉賞	鮎のさんしょ味噌	黒淵・栃山グループ
木の葉賞	豆腐の大和いもと 木の芽きんちゃく	姉妹グループ(平)
木の葉賞	白川の春	安江もりゑ(宮代)
商工会長賞	レリエンノ ブシエット	岐阜部品Cグループ
農業協同組合長賞	四季シリーズ冬	神付四季の会
森林組合長賞	つばき姫	三宅末子(可児市)
観光協会長賞	桜ずしとせんべい	金尾和子(陰地)
ふるさと企画賞	デザート	姉妹グループ(平)
特別賞	バラブリン	沢木紀代子(平)
審査員特別賞	朴葉ずし	松岡竜太(日向)

作品名「ピールのおつまみにお茶しませんか」

▼田口さき枝さん(上親田)

最優秀賞



部長廣岡和功さんをはじめ、アートデザイナー、テレビディレクターなどといった感性豊かな審査員六人と出展者全員があたり、見て、味わっての一次審査で十点到に絞られ、再度、審査員だけの二次審査を行いました。審査長の廣岡さんは、「昨年より、どれも盛り付けが奇麗になっていて、村の特色をだそうとしている。」と全作品に高い評価を下さいました。また、テレビディレクターの阿武野勝彦さんは、「フィリピンの皆さんの作品はおもしろい」と異国感あふれる料理に感動を受けたようでした。

観客全員を魅了した

ハープコンサート

森の雰囲気をも十分に演出してくれたのは、はなのき会館のホールで行われたハープによるコンサートで、本物の朴の木をバックに、艶やかな



観客全員を魅了した神谷朝子さん

衣装をまとい、四十七本の弦を自在に爪引くのは、日本を代表するハープ演奏者の神谷朝子さん。

コンサートは、全十二曲が午前と午後の部に分けられており、イギリス民謡の「グリンズリープス」や「エーデルワイス」といった、誰もが一度は耳にしたことのある曲が多く、軽やかな演奏は、鳥のさえずりでも聞こえてきそうな気持ちにさせてくれました。

午後からは、「父の日」ということもあってか、お父さんたちの姿も目に付き、流れるような音色に耳を傾け、目を閉じて聞く姿は、日ごろ忙しさから開放されているようでした。

神谷さんの奏でるメロディーは、観客みんなを魅了しました。

大人も子供も

みんな満足ノ

来場客を満足させたのは、森の体験工房や朴葉ずし茶屋。

森のアクセサリ工房では、ヒノキの実を使ったアクセサリの作り方を教えていました。

「普段、こういうものを作ることがなく、大変おもしろい」とは、川辺町から来た家族連れ。また、木の葉カード工房では、木の葉を使った名札やしおり作りに、「久しぶりに子供と遊べて楽しい」と美濃加茂市から来

た親子が、田満などところを見せてくれました。隣の「森の郵便局」では、職員の方が切手販売に大奮闘。八十円切手を五枚買うと、ヒノキのハガキを五枚プレゼントというサービスぶり。また朴葉を使ったはがきづくりも行っていました。

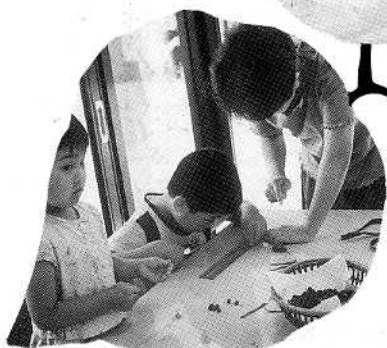
別館二階では、「季節の絵皿陶芸教室」が行われ、生きがい事業の陶芸教室で、老人たちのお手伝いをしている陶芸サークルの皆さんが、ここでも活躍。粘土に木の葉で柄を付けていたのは各務原市から来た老夫婦。「一回やってみたかった。趣味になりそう」とここへ来て、どうやら「生きがい」を見付けたようです。

大繁盛を

していたのは、



木の葉カード工房▶



▲森のアクセサリ工房



▲季節の絵皿陶芸教室



やはり人気は食のコーナー//
大繁盛の朴葉ずし茶屋

朴葉ずし茶屋。普段は味の館でトマトジュースなどを作っている皆さんが、今日は、料理屋の板前さん。休む間もなく入ってくるオーダーに汗を流しながらも手際良くこなしていました。メニューは、朴葉ずしのほか、木の芽田楽、木の葉うどんなど、料理の材料だけでなく、ヒノキの器や朴葉の葉を敷物に使うなど、工夫が凝らしてありました。

来場者約四百人を集めたこのイベント。いつもは料理や遊びの脇役の木が、今日は主役となり、多くの皆さんが木の葉の利用を知り、興味を抱いた一日でした。



食べられる山野草展示コーナー

おしらせ

こんにちは 社協です

八年度社協会費
ありがとうございました

六月に皆様からご協力いただいた八年度社協会費は、七月一日現在で、一般会費が、
百十三万三千円
特別会費が、
三十八万五千円
となりました。
加入・増口を
して下さった皆
様、会費集めに
ご協力下さった
各組長さん、班
長さんに、お礼
申し上げます。

あなたの声が道づくり にいかされます

建設省の諮問機関である道路審議会では、平成十年度からスタートする道路計画のため、皆さんから意見を募集します。そのため、みちを考える始まりとして、「キックオフレポート」を作りました。それぞれのテーマについて意見や提案をお寄せください。①くらしと道のかかわり／ライフスタイルが変わっていくこれからの道は？②渋滞の解消／渋滞のない街を実現するためにクルマの使い方は？③市街地と道づくり／まちを安全で住みやすくするために身の回りの道は？④生活環境と利便性／幹線道路沿いでの暮らしやすい住宅感を実現するためには？⑤交通安全の確保／人やクルマの安全を確保するために？⑥道づくりと合意形成／地域の皆さんの合意のもとで道づくりが進むようにするには？

車上狙いに ご注意！

⑦情報通信技術と交通／もっと手軽に、もっと安全確実に情報通信技術への期待は？⑧国土の使い方と機能配置／国際的な競争時代のなかで、国土の使い方は集中、分散？⑨道づくりと生活サービス／質の高い快適な生活をめざした地域づくりへ医療、教育、買い物などの機能の配置は？⑩高速道路の料金と道路整備／高速道路の料金をできるだけ低く抑えるには？⑪道路空間の使い方／道路の上下空間の有効な使い方は？⑫民間と行政の役割分担／道づくりは誰が行ったらいいか民間と行政の分担は？▼ご意見の提出先／〒一〇五 東京都港区虎ノ門二の八の第十五森ビル内「二十一世紀の道を考える委員会」

うにしてください。また、不審な車や人を見かけた時は、警察まで通報をお願いします。

年金の税の仕組み
～年金収入は雑所得～
国民年金・厚生年金などの公的年金や生命保険・郵便年金などの私的年金を受け取ったときは、雑所得として所得税がかかります。（傷病者や遺族の受ける恩給や年金は非課税となっています）
▼年金と確定申告／一定の金額を超える公的年金や私的年金を受け取る時は、所得税が源泉徴収されていますので確定申告で精算することになります。



● 家庭でできる節水の工夫 ●



蛇口はこまめに開閉を。流しっぱなしは1分間に6ℓもの水がムダになります。水の勢いは鉛筆の太さを目安に。



入浴時にシャワーを出しっぱなしにしたり浴槽から湯をあふれさせたりは禁物。残り湯も、洗濯・掃除・まき水などに再利用を。



普通乗用車を洗車する場合、バケツ洗いなら約5杯ですみます。流しっぱなしのホース洗いでは、約30杯分の水が必要です。

保健婦だより

日常生活でガンを予防する

新⑪力条

- ① 毎日、必ず、朝食を。
- ② 毎日、七〜八時間睡眠をとる。
- ③ 栄養バランスを考えた食事を。
- ④ タバコは吸わない。
- ⑤ 運動やスポーツを定期的に週一回以上行う。
- ⑥ お酒は、日本酒なら銚子一本以内、ビールなら大一本以上まで。
- ⑦ 一日平均の労働時間は、九時間まで。
- ⑧ 自覚的なストレスを減らす。
- ⑨ 笑いのある日常生活を送る。
- ⑩ プラス志向で日々を過ごす。
- ⑪ 生活に自分にあった香りと好きな音楽を。

けいじばん

【戸籍】 (敬称略)

- いつまでもおしあわせに
 {木村 恒久 (上親田)
 {佐藤 文香 (犬山市)
- 誕生おめでとうございます
 (日 向) = 安江 健 みずき
 昌恵 瑞
- おくやみ申し上げます
 伊藤 富郎 89歳 (宮 代)
 安江 清 80歳 (陰 地)
 安江 化平 79歳 (栃 山)
 安江 フジノ 88歳 (栃 山)
 新田 義男 83歳 (加舎尾)

【善意】 (敬称略)

- 【社会福祉協議会】
 現金30万円 = 井戸英彦 (美濃加茂市)
 現金20万円 = 村雲芳樹 (中通)
 現金20万円 = 新田充 (加舎尾)
 古切手 = 田口小鈴 (大明神)
 古切手 = 安江貞行 (曲坂)
- 【社会福祉指定寄付】
 現金5万円 = 伊藤重雄・美枝 (平)
 現金10万円 = 安江 博 (栃山)
 現金5万円 = 安江正明 (陰地)
- 【せせらぎ荘】
 雑巾20枚 = 生きがい事業参加者一同
- 【東白川病院】
 雑巾20枚 = 生きがい事業参加者一同
- 【東白川小学校】
 マリーゴールドの苗300本 = 今井正三郎 (西洞)
 カーネーションの苗150本 = 安江弘武 (柏本)
 粉茶170パック = 茶業振興会
- 【東白川中学校】
 お茶10kg = 茶業振興会
- 【神土保育園】
 お茶8kg = 茶業振興会
 箸40膳 = 内木逸介 (黒淵)
 雑巾72枚・わらざうり4足 = 生きがい事業参加者一同
- 【越原保育園】
 お茶700パック = 茶業振興会
 箸40膳 = 内木逸介 (黒淵)
 雑巾60枚・わらざうり4足 = 生きがい事業参加者一同
 さつまいも苗 = 安江忠昭 (陰地)
 花苗 = 陰地花かざり委員
- 【五加保育園】
 お茶5kg = 茶業振興会
 アニメビデオ2巻 = 嶋田 進 (宮代)
 村雲行雄 (柏本)
 雑巾50枚・わらざうり4足 = 生きがい事業参加者一同

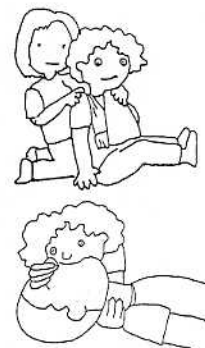
「イザ」という時のために

普通救命講習会

事故現場に居合わせた時、救急車が着く前の応急手当法

☆特別減税の適用／公的年金等の受給者の特別減税については、「扶養親族等申告書」を提出している人の場合、その支払者から年二回の還付を受けることとなりますが、最終的な特別減税の精算は、この申告書を提出していない人と同様に確定申告により行うこととなります。

◆くわしくは／税務係有線二一四一まで



を習得しませんか。
ご家族、ご近所の方のためにもぜひご参加ください。

- ▼日時／八月十八日(日) 午前九時から十二時まで
- ▼場所／白川町河岐 可茂消防事務組合東消防署
- ▼定員／三十人(先着)
- ▼受講料／無料
- ▼申込期限／八月十一日まで
- ▼問い合わせ・申込先／可茂

消防事務組合東消防署
☎(二)一六四一

道路利用者の皆さんへ

日頃は道路を利用され、何かとお気づきの点があるかと存じます。

そこで道路を利用される折に落石、穴ぼこなどの障害物をみつけられましたら、連絡ください。

▼連絡先／役場土木係有線二一七一まで

※落石など注意区間

越原付知線大明神地内
恵那、蛭川、東白川線下親田

地内

「過労死」相談窓口

開設される

過労死(脳・心臓疾患)への関心が高まってきていることから、これら疾病が労災保険で認定されるための要件や労災の請求方法等について多くの方に知っていただくため相談窓口を開設しました。

▼相談日／毎月第二月曜日

午前十時から午後四時

▼場所／(財) 労災年金福祉協会岐阜労災年金相談室

▼電話／〇二〇一六〇三一
一四(フリーダイヤル)

TOPICS

主張

素直な心で発表！
青少年主張大会

「誇りをもって明るく住みよい村を：」と東白川村民の誓いで始まった平成八年度東白川村青少年の主張大会が、六月八日にはなのき会館で行われました。

この大会は、村の小学生から青年までの人たちに意見や主張を延べてもらい、青少年の考えや思いを知ることにより、今後の健全な育成に役立てようというものです。

発表を行ってくれたのは、十人の皆さん。

小学生は、「自然を守り動物と共存できる村」また、「お年よりを大事にしたい」といったような自然や弱者を守りたい素朴な気持ちを話してくれました。中学生では、いじめや病氣、進路など自分の体験を生かした発表が行われました。

高校生になると、「現代教育」、「あなたの自由な時間は何ですか」といったテーマで、「物事は答えは一つでなく、広い視野で」といったことや「時間を大切に」といった高校生らしい視点のとりえかたで発表が行われました。

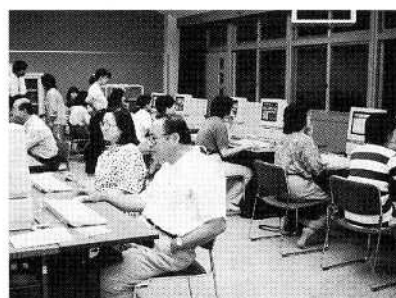
今回発表した中学三年の今井梨可さん（大沢）は中学生を代表して可茂地区の審査をうけます。



“いじめ”について発表した
栗本ナツコさん（柏本）

学習

若い人には負けません
おとなたちのパソコン教室



初めてのパソコンも馴れると楽しそう!!

六月十九・二十・二十六日の三日間の日程で一日二時間のパソコン教室が中学校で行われました。

この教室は、今ブームになっているパソコンに、普段触れることが無い方を対象に、教員募集数に募集人員の十六名に対し、なんと四十名。時代はまさにコンピュータ“真ッ盛り”といった感じです。

初心者が対象とあって、内容は操作の仕方や文章の作り方、絵の描き方でしたが、初めて触れる機械に戸惑う方がほとんどでした。

初日には、「いっぺん、なぶりたかった」と話してくれた日向の安江たがゑさんも、最終日には、お孫さんへのカレンダーづくりで熱が入っていました。普段職場で触れることを避けていたパソコンに皆さん大きな興味を抱かれたようです。最後には、自分たちの顔写真の入った終了証を思い思いに作成しながら、楽しんでいました。



“これからはパソコンの時代、私もガンバリます”

美化

ユニークな美化運動
中学生の生け花展

校長先生の推薦作



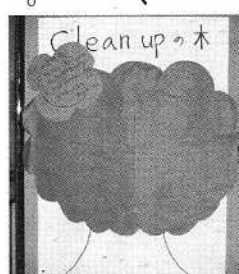
中にはユニークな作品が

“あなたの何流?” “私の自己流!”とでも応えたのか。中学校では、生徒会のクリーンアップ委員会が中心となり校内の美化運動の一環として、生け花展を行いました。

委員会が全校生徒に募集をしたところ、たくさんの作品が集り、委員長である三年生の今井一平さん（平）は「大きなことをやったなあ」と自分たちの始めたことに、満足していました。

この生け花展の花や木の葉は、周りの山から摘まれたもので、作品にはそれぞれタイトルが付けられており、どれもセンスあふれるものやユニークなものばかりでした。

この一風変わった美化運動。 “掃除だけにとられず、視野を広げた活動を”と始められたものです。また、委員会は、この生け花展のほか、清掃はもちろんのこと “学校とみんなの心に花を咲かせよう”と一致団結し、トイレなどに花を飾り、美化運動の推進を呼び掛けています。



このCleanupの木には
毎月、目標が書かれた
花が咲きます

話題集まれ!

栄 誉

よくぞつかんだ銀メダル
第40回加茂郡消防操法大会



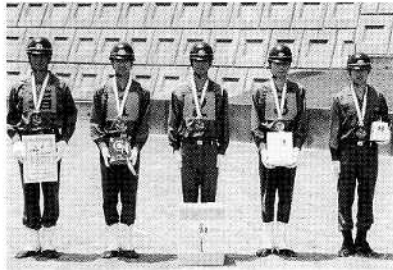
訓練を重ねたみごとな操法!

この日に照準を合わせ、連日連夜の訓練に耐え、ついに銀のメダルを胸にしました。

六月二十三日、加茂郡消防操法大会が、本村の総合運動場において行われ、代表で出場

した第一部第五ポンプの皆さんが、準優勝の榮譽に輝きました。小型動力ポンプで入賞を果たしたのは、八年ぶり(ポンプ自動車と一年おき)のこと。地元開催ということで、何とか入賞を」と周囲の期待も高く、そのプレッシャーを跳ね退け、みごとな操法を見せてくれました。

「このメダルは、俺たちにとって金メダルと同じ価値がある」と二ヶ月間の訓練を振り返り、流れる汗と涙を手で拭きながら、話してくれたのは、指揮者を務めた村雲辰善さん(下親田)。どうやら、第五ポンプの皆さんには、一生忘れられない思い出ができたようです。



準優勝に輝いた第一部第五ポンプの皆さん

開 始

美濃越原郵便局
七月から新局舎で業務開始



明るさを感じさせる建物が地域の目印にも

昭和十年に郵便取り扱い所として開設し、七十余年の歴史を持つ美濃越原郵便局が新築され七月一日から新局舎で業務を行っています。

六月二十二日の新築落成式では、新藤秀逸県議会議員をはじめ多数の関係者を招き、はななき会館にて盛大に行われました。

この郵便局の初代局長桂川虎雄さんは、現在の局長桂川信道さんのお祖父さんにあたり、以来お父さんやお母さんも局長を務められ、信道さんで五代目になります。その間、昭和四十年には、火災による全焼といったこともありましたが、地域住民には欠かせない通信業務に大きく貢献されてきました。

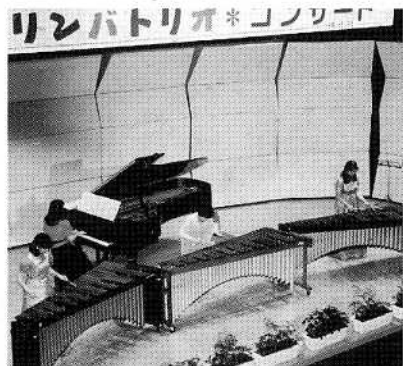
この新しくなった郵便局のロビーにはパソコンが備えられ「お客さんに自由に使っていただき、また、近い将来このパソコンで、パスポートや切符が手配できます」と信道さんは話してくれました。



新鮮な気持ちで働く皆さん

感 動

プロの演奏に感動!
私たちも芸術家に...



演奏される皆さんの息はピッタリ!!

へき地芸術フェスティバル「マリンバル・アンサンブル公演」が、六月十九日に小中学生を対象に、はななき会館で行われました。

子供たちに、優れた芸術を鑑賞させることにより、「豊かな情操や感性を育てる」といった目的で行ったもの。演奏した四人の女性の皆さんは、普段は大学や高校で音楽の講師をするかわら、それぞれで、数々の大会やフェスティバルに出演されているそうです。

演奏されたのは、全部で十曲。そのほとんどが子供たちの聞いたことのある曲ばかりで、マリンバル(木琴)をたたく手の動きには芸術を感じ、皆さんの奏でるメロディーに聞き入っていました。プログラムの中には、マリンバルの演奏に合わせて小学生は「校歌」や「歩いていこう」を元気いっぱい歌い、また、中学生による合唱も行われました。

最後に、演奏してくれた皆さんへ、小中学生を代表して、中学三年の村雲弘子さん(中通)が、お礼の言葉を述べ、言葉の中には「わたしたちも人に感動を与える合唱をめざしたい」と抱負も込められていました。



フレッシュパック'96より

今月の笑顔さん

季語というものは、季節を表す言葉であるから、何と云っても植物名が多いのは当然のことですが、このごろは特に野菜などに季節感が無くなって、その名を挙げれば即座に季節を連想するものが少くなりました。こうなると、季語の混乱が始まるのではないかと心配です。焼肉にうすみどりなるパセリかな 飯田蛇笏
そら豆はまことに青き味したり 細見綾子
遠母よ剥けばキャベツは手に余る 松山とみ
濡れてゐる西日の中のトマト 買う 三浦あきら
寝そべってゐて枝豆に手のとどく 坂巻純子
どれもこれも夏の季語となっている野菜ですが……。

みんなが公園…のよつなページ

よろしく願います

佐々木 由紀

皆さんこんにちは。私は現在社会福祉協議会で臨時職員として働いています。

出身地は愛知県で、こちらに来るにあたって、多少の不安もありましたが、何とか日々平穩に過ごしています。

社協で働き始めて一ヶ月が過ぎましたが、その間、仕事を通じてたくさんの方々にお会いでき、各活動の場に立ち会うことができました。とりわけ、独居老人へ食事サービスを提供されている「かすみ草」の皆さんや寝たきりの方へ手作りシーツをプレゼントされた日赤奉仕団の皆さんも、忙しい身でありながらボランティア活動に意欲的な姿には、感銘をうけました。

私も東白川村の福祉に貢献できるように頑張りたいと思いますので、皆さんよろしく願います。



佐々木由紀さん



職場から

「やはり村にも喫茶店が」との周囲の声を挙げて始めたのは、平が実家の今井永子さん。場所は以前も喫茶店

があった村民センターの二階で、「実鈴」という店名で六月十六日にオープンしました。「この店は、私のラッキーな花、すずらんの花が鈴なりに実をつける」から名付けた」という永子さんは、喫茶店での経験があり「好きだからやってみたかった。」と話してくれました。

ここでのおすすめメニューは日替ランチだそうです。メインの品に、サラダ、味噌汁、ご飯、漬物、それに自家製の梅干しとお惣菜が必ず付くという豪華さで六百五十円。オープンして間がありませんが、少しずつお客さんは増えているそうです。



▶安江朋美ちゃん
(雅次さん・美紀さん
柏本)



▶安江賢人ちゃん
(智樹さん・文子さん
陰地)

今月のことば

地球が誕生して五〇億年、人類の発祥より五万年、人類が文化を持っておよそ五〇〇〇年。宇宙の歴史は壮大、人類の進化は始まったばかり。

漢々山人

今月は、六月十六日に結ばれた、上親田の木村恒久さん、文香さんご夫妻を訪ねました。

約二年間の交際を経てゴールインとなったお二人の出合いは親戚の紹介だったとか。ご主人が毎週日曜日に、奥さんの実家である犬山市まで迎えに行き、デートを重ねていたそうです。

第一印象は「最初から友だちのような感じ」とご主人が語れば、「しゃべりやすかった」と奥さん。

結婚直前まで村へ一度も

来たことが無かった奥さんは、「イメージはしていたけど、国道四十一号線から入った途端に口数が減った」と都会育ちの奥さんには、よほどのギャップがあったのか。今はやさしいご主人と家族に囲まれ、「とっても住みやすいところですよ」と話してくれました。

「その日のけんかは、翌日まで持ち越さない家庭に…」と言うご主人にうなずく奥さん。上親田に明るいお二人の誕生です。

2 ツーショット 新婚さん



木村恒久さん・文香さんご夫妻

今回は、加茂郡体育大会で見事優勝を果たした、家庭婦人バレー部を訪ねました。

現在部員数は十二名。練習は週に二回、小中学校の体育館で行っています。コートいっぱい、プレーをする皆さんを見てみると、普段の家事を忘れることのできる貴重な時間だそうです。

このチームを率いるのは、日向の松岡良典監督。「厳しいけど、チームを引っ張ってくれる頼りがいのある監督」とは、チーム全員の気持。

スピードとチームワークが売り物という皆さんの目標は、地区大会での優勝。



サークル

訪ねある記 ④

図書室発・あなたへ



「落後名人選」
三遊亭圓歌（先代）

ホットアングル



伸びて、伸びてぐんぐん伸びた、にんにくの茎。このにんにくの茎は、柏本の近藤富雄さん宅の畑で育ったもので、高さ140cm。本来栽培されている場所とは少し離れて、一本だけ伸びてきた。



隣の茶畑のせいかなと雄富さんは、挑発する。話さなければならぬ。

この本はカセットブックです。壺・紋三郎稲荷の嘶が録音されています。

今年度、シルバーまなびすとライブラリー事業として岐阜県図書館より、生涯学習の一環として、高齢者向けに一般図書の他にカセットブックや活字が大きく読みやすい大活字本が貸し出しになりました。

どなたでも借りられますので、気軽にご利用下さい。

▶今井夏樹ちゃん
(輝久さん・美和さん
＝神付)



わが家のスター

隣家の塀は遂に過ぎませり送るやからは花を供えて
れんぎょうは路地の垣根に咲き盛り添い行けば身に匂い移らむ

故 安江 化平

○楚そと咲くゆきのしたの花その脇を蟻の行列果てなく続く

今井 かな

母の亡き息子の挙式にわが発つと妻の写真を深く忍ばす

安江 澄

池の辺の藤散り始めて水に浮く花びらを押し鯉は群がる

安江 澄

田植すみ泥を落してさなぶりの宴たのしみし想い出はるか

三戸 きり

○先立ちて案内すること飛ぶ虫の人恋しきかしばし離れず

安江 節子

前山の咲ける辛夷をまだ見ずと季節過ぎつつ今に思はる

小池 弘子

梅雨の間に切りし太藪香りたち木曽路の夏を小宵味わう

安江 龍玉

○ヒュルヒュルと笛吹く様に河鹿なくこのせせらぎのどあたりに

安江 とくよ

雨に濡れ色鮮やかなあじさいを玄関に置き梅雨をたのしむ

小林 道子

○何処にか果のあるらしき名も知らぬ小鳥がはげしく威嚇して鳴く

安江 順子

休耕の田を任されて種選びわが生き甲斐と時きつけて行く

荻田 清美

○雨あがり芋の葉に置くひとしづくの水玉ゆらすいたづらの風

早瀬 久子

○夫の喜寿子等に祝われ新緑の奈良への旅に足どりたしか

田口 かずみ

田で騒ぐ蛙の声にリハビリの夜の散歩の心なごみぬ

安江 守平

登り得ぬ今は野山のなつかしく平成橋が出来散歩する

安江 すみよ

俳仏の里に住み古り奥域の裸芽吹ける春にまた逢ふ

今井詩論一

この玉をはずしてなかと打つ玉のゲートそれをも一つ楽しみ

桂川 喜郎

一年を過ぐれば炬燵の向い側孫あやしつ妻の頭ちくる

古田眞之助

○祖母の轡を拾いて股が幼な児はチンボコチンボコ春の野に跳ぶ

中島甲子生

ニコニコとねじり鉢巻の舟頭は東北弁で客を笑わす(下親田)

安江 節子

○一人身の野菜の畑は狭けれど丁寧に植え明日をを楽しむ

山口とみ江

○干物焼く香の流れ来て山菜に心残りつつ山を降りぬ

伊藤 美枝

木馬路綱場修羅など設らえた「ドングリ小路」にみどりの陰ふむ

伊藤 重雄

あなたも作品をお寄せください！初心者、とくに若い人たちの投稿を
歓迎します。偶数月の二十日までに神土伊藤重雄宛に出して下さい。

こぼれ話



女性の企画
力のすばらし
さと、潜在労
働力の多さに
あらためてびっくりにしている。

▼白川茶屋で働く婦人の皆さ
んのいきいきとした姿を見る
につけ、次々と新商品を開発
するエネルギーにおどろいて
いる。昨年、白川茶屋の朴葉
寿しに使用した米がなんと九
石五斗一升二合。米の成人年
間消費量は七〇kgだそうです
から、約二〇人分の米を使用
したことになります。▼今年
の五月には、田んぼが華やか
に見えた。乗用田植機に若い
女性二人が堂々と作業をして
いる。男性と同じように働く
姿を見ると、私は今まで、こ
の仕事は男性、あの仕事は女
性と区別していたことをつく
づく反省します。▼今年は県
茶業振興大会が本村で開かれ
るため、品評会茶の摘採を多
くの婦人の皆さんに協力いた
だいたが、専従の摘採班の皆
さんのおかげで十八点の品評
会茶を作ることができた。▼
これからの村の活性化は、紹
介したような女性の活躍と、
まだまだ埋れている労働力、
能力にかかっているようだ。

(K)

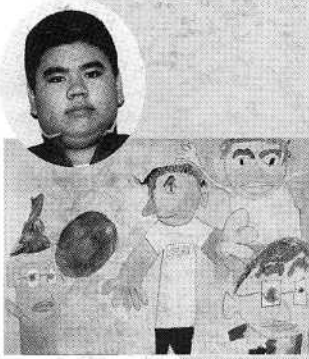
発表の作品



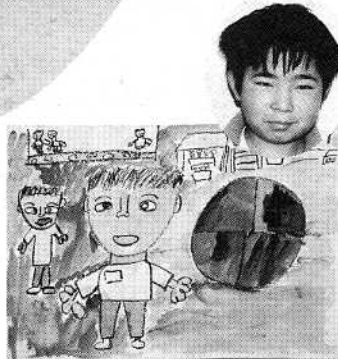
▲色えんぴつ画
「保育園に行く絵」
越原保育園年長組園児
粥川准ちゃん(陰地)



▲「おはなしの絵」
東白川小学校1年生
小池昂さん(大沢)



▲「ゆめの花園」
東白川小学校4年生
安江真衣子さん(大明神)



▲水彩画「体育大会」
東白川中学校のぞみ学級
田口義貴さん(上親田)

水彩画「体育大会」▶
東白川中学校のぞみ学級
村雲雄太さん(平)



再生紙を使用しています